

社労士國本の一(笑)生(笑)勝(笑)翔(笑)



1. 職場意識改善助成金制度とは？

オススメです！

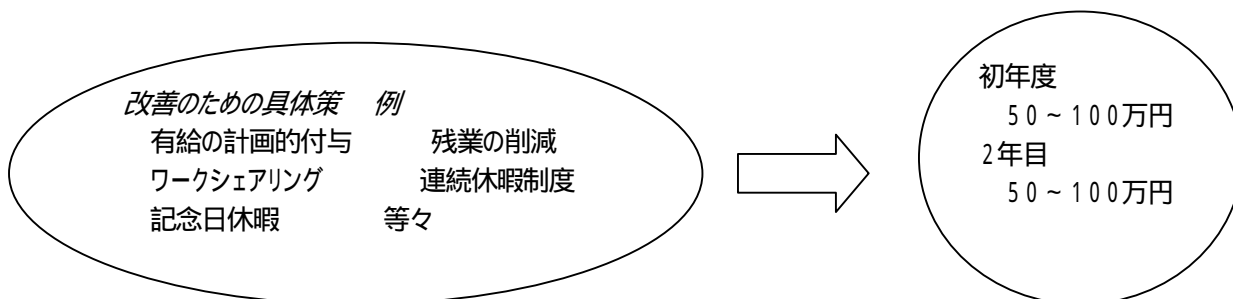
★7月までに計画申請が必要です！お問い合わせは大至急お願いします。

パートさんのみという場合でも、チャンスがありますよ。

どんな制度なの？

この制度は、中小企業における労働時間等の設定の改善を通じた職場意識の改善を促進するため、職場意識改善の2ヶ年計画を作成し、計画に基き効果的に制度改善を実施した中小企業の事業主に対して、助成金を支給する制度です。

また、「労働時間等の設定の改善」とは、労働時間、有休等について、社員の生活と健康に配慮し、色々な働き方に対し、労働時間等をより良いものとしていくことをいいます。



職場意識改善助成金！

仕事と生活の調和を目指し、労働時間の短縮や有給の取得促進に取り組む中小企業事業主を支援するための助成金です。この助成金は、**予算がすぐに足りなくなり受付がストップする可能性が大いにあります**ので、早めの計画申請をお勧めいたします。

計画申請期間

平成24年4月1日～7月末日（但し、申請件数の状況等によって申請の受付を締め切られる場合があります。**実際の助成金申請は先になります**。その時、助成金を申請できる状態になっているかは分かりませんが、**計画だけでも念のため出しておくこと**をお勧めします）

初年度の改善

職場意識改善計画に基づき、1年間取り組みを効果的に行った場合	50万円
労働時間等の「制度面」まで踏み込んだ改善を行った場合	上記に加え、50万円

2年目の改善

職場意識改善計画に基づき、初年度よりさらに取り組みを効果的に行った場合	50万円
2年度のわたり効果的な取り組みを行い、顕著な成果を上げた場合	上記支給に加え、50万円

2. 今年の新入社員はどんなタイプ？

平成 24 年 4 月入社の新入社員

公益財団法人日本生産性本部の「職業のあり方研究会」では、平成 24 年 4 月入社の新入社員の特徴をまとめました。この研究会は学識経験者などで構成されており、就職・採用環境の動向等についての調査研究を行い、その年の新入社員の特徴をネーミングすることが恒例となっています。

今年は『奇跡の一本松型』

発表された今年の新入社員のタイプは、『奇跡の一本松型』とのことです。『奇跡の一本松』(岩手県陸前高田市)とは、東日本大震災で発生した巨大津波にも耐えて生き残った松のことであり、復興に向けて多くの人に勇気を与えていると話題になりました。

研究会では、「大卒予定者の就職内定率が過去 3 番目に低い(80.5%)という厳しい状況の中、就職戦線乗り越えてきた若者たちの頑張りを賞賛したい」と、ネーミングの理由を説明しています。

過去のネーミングは？

なお、平成 18 年～23 年のネーミングは以下の通りです。

- ・平成 18 年『ブログ型』...ネット上での交流で、他者に自己認知や共感を求めたがる一方で、他人の評価で萎縮しやすい傾向もあり、暖かい眼差しと共感が育成のカギ。
- ・平成 19 年『デイトレーダー型』...景気回復での大量採用は売り手市場を形成し、就職しても細かい損得勘定でネットを活用して銘柄(会社)を物色し続け、売買を繰り返す(転職)おそれあり。
- ・平成 20 年『カーリング型』...働きやすい環境作りとばかりにブラシでこすり続けねば、止まったり方向違いとなったりのおそれあり。楽勝就職の一方で先行き不安の試合展開は本人の意志(石)次第。
- ・平成 21 年『エコバック型』...環境問題(エコ)に関心が強く、節約志向(エコ)で無駄を嫌う傾向があり、折り目正しい。小さくたたためて便利だが、使うときには大きく広げる(育成する)必要がある。
- ・平成 22 年『ETC 型』...性急に関係を築こうとすると直前まで心のバーが開かないので、スピードの出し過ぎに注意。IT 活用には長けているが、人との直接的な対話がなくなるのが心配。
- ・平成 23 年『はやぶさ型』...東日本大震災の発生により発表は見送り。

皆様の年はどうだったか、調べてみるのも、良いかもしれませんね。ちなみに私が社会の海に飛び出した平成 6 年は、『浄水器型』でした。解釈・意味は、「取り付けが不十分だと臭くてまずいが、うまくいけば必需品」とのことです。

ちなみに、浄水器で思いましたが、私の大学卒論のテーマは「おいしい水」でした。社労士とも関係なく、就職する業界とも関係ないものですが、時代を先駆けたものだったと勝手に自負しております。



3. 課長と一般社員の考えのギャップをどう埋める！？

意識の違いはどこから生じる？

公益財団法人日本生産性本部では、管理職層と一般社員層（2011年6月以降における同法人主催の公開セミナー等の受講者）を対象にアンケートを実施し、先日その結果が発表されました。

管理職層の回答の中から「課長職」のみの回答（478件）を、一般社員層の回答の中から「入社2年目社員から係長・主任・職場リーダークラスまで」の回答（381件）を抽出し、比較分析が行われています。

多くの項目で、両者の意識にギャップが生じていることがわかりました。

コミュニケーションが取れているか？

まず、「部下または後輩とのコミュニケーション」について、「取れていると思う」と回答した課長は79.9%でした。逆に、「上司とのコミュニケーション」について、「取れていると思う」と回答した一般社員は68.8%でした。

課長自身が「部下・後輩とはコミュニケーションが取れている！」と勘違い(?)されているケースがあるようです。

職場での情報共有がされているか？

次に、「職場での有益な情報共有」について、課長のうち68.0%の人が「共有されていると思う」と回答したのに対し、一般社員のうち53.8%の人が「共有されていない」と回答しました。

情報共有ができていていると思っている割合は課長のほうが高くなっており、ここにもまたギャップが生じています。

部下の話をじっくり聴いているか？

また、課長のうち85.6%の人が「部下の話をじっくり聴いている」と思っていますが、一般社員の30.4%は「自分の上司は話をあまり聴かない」と感じているようです。

上司の側は部下の話を聞いているつもりであっても、部下の側はそうに感じていないことも多いようです。

4. 私の本棚より ~今月は、「新型うつな人々」です。

今月ご紹介する本は、「新型うつな人々」という本です。

昨今、うつ病の方が増えているという報道を、聞くことがあります。それについての現状、そして対処法が書いてあります。

会社の業績アップも、働く人の心の健康（メンタルヘルス）あってのものです。私も仕事柄、よく勉強しようと思えます。

*また最近「アンガーマネジメント」の勉強を始めようかとも考えています。これについては、また報告いたします。



所長のひとこと～ いやされます

皆様は、仕事場の机等に、心を和ませるものを置いていますか？お子様の写真を置いている（あるいは机の引き出しにしのばせている）という方もいらっしゃるかもしれませんね。

さて、私はどうかというと、下の絵葉書を飾っています。これは、上関町にある訪問介護業を営んでいる会社の社長様が描かれた物で、猫の「てんきち」です。先日ありがたく頂戴することができました（私が欲しそうな顔をしていただけではありませんが・・・(^_^;)）

難しい案件に悩む時もありますが、そんな時はこの絵葉書を見て、心を少し和ませております。



國本豊社労士事務所は、以下の業務を行うことで、地域の事業主様をサポートいたします！

（以下は顧問契約先へのフルサポートですが、単発の相談も喜んでお受けいたします）

・就業規則の作成

（プロが作る就業規則です。会社の発展、社員の安心感につながる規則を作成します。法改正にも随時対応します）

・労働保険、社会保険手続き

労働保険年度更新(7月) 社会保険算定基礎届(7月) 36協定作成届出(定時) 労災事故手続き
1年単位変形労働時間届(定時) 介護保険料変更、控除額お知らせ(3月) 雇用保険料率変更お知らせ(4月)
健康保険料、厚生年金保険料変更、控除額お知らせ(9月) 入社・退職社員様に関わる保険関係届 年金相談 等

・情報発信、相談業務

労働基準監督署の調査対応 御社に役立つ助成金情報があれば、ご提案します
土日朝夜問わず雇用に関するお困り事の電話、メール相談をします。もちろん、訪問相談もいたします
給与改定時ご連絡いただければ給与台帳を拝見し、社会保険料算出、月額変更等の確認をします
御社に役立つ有効情報をタイムリーに発信、ご提案します 毎月1回人事労務ニュースを持参(又は発送)します

お客様の喜び=私の喜び ^{くにもとゆたか} 國本豊 社会保険労務士事務所

〒742-0034 山口県柳井市余田 1310

TEL 0820 24 6886 FAX 0820 24 6887 ホームページ <http://k-sr.jp>

公的活動

- ・山口商工会議所エキスパート登録
- ・財団法人やまぐち産業振興財団専門家登録
- ・柳井商工会議所青年部所属
- ・柳井商工会議所中小企業支援センターコーディネーター
- ・柳井市倫理法人会会員（広報委員をしています）
- 講演、メディア出演等
- ・KRY ラジオ「おはようKRY」電話出演（平成20年3月）
- ・FM山口「ザ・ムーブマン」に出演（平成21年11月）
- ・柳井ライオンズクラブにて講演（平成22年11月）
- ・柳井市倫理法人会モーニングセミナー講師（2回）

